

東林館高等学校 通信教育実施計画

科目名(単位数)		現代社会(2)				
対象年次		期別	必要面接時数	レポート数		
原則3年次		通年	2	6		
科目の概要	現代の日本社会、さらには世界が抱える課題と自分の身近な出来事の関わりを知ることから始め、社会の多様な問題に関する知識を学んだ上で、私たちの社会について正しい理解に基づいた考察を深め、基礎的な公民的素養を培う。					
科目の目標	人間を尊重し科学的にものごとを見るという広い視野から、現代の社会と人間について理解を深め、社会の基本的な問題に主体的に取り組むことで、公正な判断力と自分の生き方について考える力を養い、現代社会を生きる人間として必要とされている能力と態度を身につけさせる。					
年間学習計画・学習のねらい	学習内容	到達目標	スクーリング回	レポート回	試験範囲	
	第1部 私たちの生きる社会 1. 地球環境問題 2. 資源・エネルギー問題	①地球環境問題について理解し、持続可能な開発に向けた課題について考察する。 ②資源・エネルギー問題について理解し、低炭素社会、持続可能なエネルギー利用の実現について考察する。	1	1	前期	
	3. 科学技術の発達と生命 4. 情報化の進展と生活	③医療技術の発達をもたらす生命倫理の課題について理解し、考察する。 ④情報化の進展が生活や社会の変化に及ぼした影響を理解し、情報化社会の課題について考察する。				
	第2部 第1章 青年期と自己形成の課題 1. 現代社会と成年の生き方 2. よりよく生きることを求めて	○現代社会の特徴、課題について理解する。 ○青年期の心理的、社会的特色について理解し、社会との関わり方の意義について理解する。 ○宗教の意味について知るとともに、各宗教の人間観や教えについて理解する。				
	第2章 日本国憲法と民主政治 1. 民主政治とは 2. 日本国憲法の基本原理 3. 日本の政治機構	○民主政治が生まれた経緯や社会契約説、権力分立の思想等について理解する。 ○日本国憲法における人権保障の基本的な考え方や法の下での平等の意義、自由権的基本権について理解する。		2		
	第3章 現代社会と法	○法の特色、法の種類、法と道徳や正義との関係、法の支配の意味について理解する。		3		
	第4章 現代の経済と国民福祉 1. 経済のしくみ 2. 変化する日本経済	○現代の経済における様々な組織・機関の働きを学び、個人と企業の経済活動における社会的責任を考える。	2	4		後期
	3. 豊かな生活の実現	○生活に直結する雇用・労働問題、社会保障を理解する。		5		
	第5章 国際社会と人類の課題3部 ともに生きる社会をめざして	○市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察し、市場経済の掲揚と課題を理解する。 ○国際協力の必要性を理解し、多様性を受け容れる力を備えた国際人としての生き方について考えを深める。 ○平和と人権を尊重しながら、発展が持続可能な社会でともに生きる未来を考える。		6		
	評価方法	年度末の成績評価は下記の通り行う。 レポート:50% スクーリング:15% 試験:35% レポート:教科書や学習書を活用し、取り組むこと。 スクーリング:年間計画に従い、各自で予習・復習に取り組むこと。 試験の得点:追試験の得点は、定期試験の得点と同等には扱わない。				
単位の修得	①レポート:締め切りまでに所定のレポートを提出し、合格すること。 ②スクーリング:年間12時間出席すること。 ③試験:前期試験、後期試験を受けること。					
使用教科書等	教科書:現代社会(東京書籍)					
学習上の留意点	スクーリングの進行にあわせて復習をし、レポートに取り組みましょう。					